



チャボがあらわれた!

コンテンツ

→ とうよう
どんぐり

里山の秋は

総合公園は自然豊かなところ。季節ごとに色々な顔を見せてくれるのが大きな魅力です。

秋の総合公園の主演は広葉樹。先月号でご紹介した「秋の味覚」、「どんぐり」といった「実」で楽しませてくれる上、赤や黄色のカエデやカツラは目にも鮮やかです。

(写真①)黄葉の始まりは駐車場から。大きなユリノキ。南駐車場のカツラからは甘いキャラメルの香りが…。(写真②)10月下旬ごろから中山台も色づいてきます。ユリノキ、ケヤキ、エノキ、サルスベリなどが手の届きそうな高さで観賞できます。



←(写真①)
南駐車場
(10月27日)



(写真②)→
中山台
(2012年)



(写真③)こぶし野～公方様の森
(2007年)

古河市に残る数少ない関東特有の雑木林、公方様の森。大きなクヌギやコナラ、シデなどが少しずつ色を変えて晩秋の公園を彩ります。最盛期は11月下旬。そして、森を歩くあなたの足元にあるのが**どんぐり**です。

Q.どんぐりはどこにあるの？

A.意外とあちこちにあります。



公園に“どんぐり”の木は7種類あります。落ちてることが多いのは、公方様の森の中や民家園の裏の斜面、菖蒲池の西側、身障者用駐車場の裏です。松ぼっくりは少ないですが、公園のずっと南、園路に近いところにあります。自分だけの“どんぐりマップ”を作っても面白いかもしれませんね。